

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	視能訓練士学科1年制		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	神経眼科学Ⅰ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45 (3) 時間(単位)
対 象 学 年	昼間部1年		学期	前期	教室名	第2合同校舎702教室
担 当 教 員	山下 尚美 他					
実務経験と その関連資格	【実務経験】 吉田浩眼科医院にて5年間視能訓練士として勤務。主業務は眼科一般検査を担当していた					
	【関連資格】 視能訓練士					
《授業科目における学習内容》						
講義形式のなかで瞳孔が縮瞳するまでの経路や脳神経の機構と視路および水平、垂直、回旋の眼球運動経路を理解し実際の疾患での眼球運動を学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験80% 平常点20%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
視能学第3版(小林 義治、松岡 久美子、臼井 千恵、岡 真由美編集:文光堂,2022)						
《授業外における学習方法》						
国家試験の臨床問題でよく出てくる分野であるので、画像をみてどこが異常なのか、考えられる原因はなにであるかを考えられるよう多くの問題を解いていきましょう。基礎的な経路を把握することが重要です。						
《履修に当たっての留意点》						
外部講師(医師)による講義も多いので臨床に即した講義も多々あり楽しみにしてください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	瞳孔経路の図を描くことができる。		視能学第3版 レジュメ	事前準備は教科書を読む 授業後、今回の授業をまとめ復習する	
	各コマにおける授業予定	瞳孔の基礎と解剖について学び縮瞳、散瞳メカリズムについて学ぶ。交感神経、副交感神経の経路も学ぶ。				
第2回	授業を通じての到達目標	対光反射の経路を理解して説明できる。ペンライトを使って検査し光を眼に入射した時の様子を確認数えることができる。		視能学第3版 レジュメ	事前準備は教科書を読む 授業後、今回の授業をまとめ復習する	
	各コマにおける授業予定	対光反射についての経路を学び、ペンライトを使っての瞳孔検査について学ぶ。				
第3回	授業を通じての到達目標	瞳孔疾患を理解し対光反射の経路とリンクさせて考えることができる。		視能学第3版 レジュメ	事前準備は教科書を読む 授業後、今回の授業をまとめ復習する	
	各コマにおける授業予定	瞳孔疾患について (瞳孔緊張症 アーガイルロバートソン瞳孔)				
第4回	授業を通じての到達目標	瞳孔疾患を理解し対光反射の経路とリンクさせて考えることができる。		視能学第3版 レジュメ	事前準備は教科書を読む 授業後、今回の授業をまとめ復習する	
	各コマにおける授業予定	瞳孔疾患について (ホルネル症候群 その他)				
第5回	授業を通じての到達目標	水平眼球運動の経路覚える		視能学第3版 レジュメ	事前準備は教科書を読む 授業後、今回の授業をまとめ復習する	
	各コマにおける授業予定	核上性基礎と解剖について				

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	水平眼球運動の経路と特徴を理解し核上性疾患を修得する。	視能学第3版 レジュメ	事前準備は教科書を読む 授業後、今回の授業をまとめ復習する
	各コマにおける授業予定	核上性疾患(水平眼球運動)について		
第7回	授業を通じての到達目標	水平眼球運動の経路と特徴を理解し核上性疾患を修得する。	視能学第3版 レジュメ	事前準備は教科書を読む 授業後、今回の授業をまとめ復習する
	各コマにおける授業予定	核上性疾患(水平眼球運動)について		
第8回	授業を通じての到達目標	垂直眼球運動の経路と特徴を理解し核上性疾患を修得する。	視能学第3版 レジュメ	事前準備は教科書を読む 授業後、今回の授業をまとめ復習する
	各コマにおける授業予定	その他の核上性疾患について		
第9回	授業を通じての到達目標	垂直眼球運動の経路と特徴を理解し核上性疾患を修得する。	視能学第3版 レジュメ	事前準備は教科書を読む 授業後、今回の授業をまとめ復習する
	各コマにおける授業予定	垂直眼球運動の経路と特徴を理解し核上性疾患を修得する。		
第10回	授業を通じての到達目標	それぞれの脳神経の経路と眼球運動の経路と特徴を理解し核上性疾患を修得する。	視能学第3版 レジュメ	事前準備は教科書を読む 授業後、今回の授業をまとめ復習する
	各コマにおける授業予定	核上性疾患についてのまとめ		
第11回	授業を通じての到達目標	それぞれの脳神経の経路と眼球運動の経路と特徴を理解し核上性疾患を修得する。	視能学第3版 レジュメ	事前準備は教科書を読む 授業後、今回の授業をまとめ復習する
	各コマにおける授業予定	核上性疾患についてのまとめ		
第12回	授業を通じての到達目標	それぞれの薬理作用と特徴を理解する	視能学第3版 レジュメ	事前準備は教科書を読む 授業後、今回の授業をまとめ復習する
	各コマにおける授業予定	神経眼科に関わる薬理学		
第13回	授業を通じての到達目標	それぞれの薬理作用と特徴を理解する	視能学第3版 レジュメ	事前準備は教科書を読む 授業後、今回の授業をまとめ復習する
	各コマにおける授業予定	神経眼科に関わる薬理学		
第14回	授業を通じての到達目標	それぞれの薬理作用と特徴を理解する	視能学第3版 レジュメ	事前準備は教科書を読む 授業後、今回の授業をまとめ復習する
	各コマにおける授業予定	神経眼科に関わる薬理学		
第15回	授業を通じての到達目標	それぞれの薬理作用と特徴を理解する	視能学第3版 レジュメ	事前準備は教科書を読む 授業後、今回の授業をまとめ復習する
	各コマにおける授業予定	神経眼科に関わる薬理学		

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	視能訓練士学科1年制		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	神経眼科学Ⅰ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45 (3) 時間(単位)
対 象 学 年	昼間部1年		学期	前期	教室名	第2合同校舎702教室
担 当 教 員	山下 尚美 他					
実務経験と その関連資格	【実務経験】 吉田浩眼科医院にて5年間視能訓練士として勤務。主業務は眼科一般検査を担当していた 【関連資格】 視能訓練士					
《授業科目における学習内容》						
講義形式のなかで瞳孔が縮瞳するまでの経路や脳神経の機構と視路および水平、垂直、回旋の眼球運動経路を理解し実際の疾患での眼球運動を学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験80% 平常点20%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
視能学第3版(小林 義治、松岡 久美子、臼井 千恵、岡 真由美編集:文光堂,2022)						
《授業外における学習方法》						
国家試験の臨床問題でよく出てくる分野であるので、画像をみてどこが異常なのか、考えられる原因はなにであるかを考えられるよう多くの問題を解いていきましょう。基礎的な経路を把握することが重要です。						
《履修に当たっての留意点》						
外部講師(医師)による講義も多いので臨床に即した講義も多々あり楽しみにしてください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第16回	授業を通じての到達目標	各神経の解剖生理を理解して説明できるようになる		視能学第3版 現代の眼科学第13版	事前準備は教科書を読む 授業後、今回の授業をまとめ復習する	
	各コマにおける授業予定	核下性解剖と基礎				
第17回	授業を通じての到達目標	各神経の解剖生理を理解して説明できるようになる		視能学第3版 現代の眼科学第13版	事前準備は教科書を読む 授業後、今回の授業をまとめ復習する	
	各コマにおける授業予定	核下性疾患(眼球運動麻痺)について				
第18回	授業を通じての到達目標	麻痺性斜視の疾患の原因、所見、必要な検査、治療を順序立てて理解することができる		視能学第3版 現代の眼科学第13版	事前準備は教科書を読む 授業後、今回の授業をまとめ復習する	
	各コマにおける授業予定	核下性疾患(眼球運動麻痺)について				
第19回	授業を通じての到達目標	麻痺性斜視の疾患の原因、所見、必要な検査、治療を順序立てて理解することができる		視能学第3版 現代の眼科学第13版	事前準備は教科書を読む 授業後、今回の授業をまとめ復習する	
	各コマにおける授業予定	核下性疾患(筋原性斜視)について				
第20回	授業を通じての到達目標	麻痺性斜視の疾患の原因、所見、必要な検査、治療を順序立てて理解することができる		視能学第3版 現代の眼科学第13版	事前準備は教科書を読む 授業後、今回の授業をまとめ復習する	
	各コマにおける授業予定	核下性疾患(筋原性斜視)について				

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第 2 1 回	授業を通じての到達目標	それぞれの疾患の原因、特徴、治療までを理解する	視能学第3版 レジュメ	事前レジュメ熟読と復習
	各コマにおける授業予定	神経眼科総論		
第 2 2 回	授業を通じての到達目標	それぞれの疾患の原因、特徴、治療までを理解する	視能学第3版 レジュメ	事前レジュメ熟読と復習
	各コマにおける授業予定	神経眼科総論		
第 2 3 回	授業を通じての到達目標	それぞれの疾患の原因、特徴、治療までを理解する	視能学第3版 レジュメ	事前レジュメ熟読と復習
	各コマにおける授業予定	神経眼科総論		
第 2 4 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 2 5 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 2 6 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 2 7 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 2 8 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 2 9 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 3 0 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			